



優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

ふれあいネットワーク

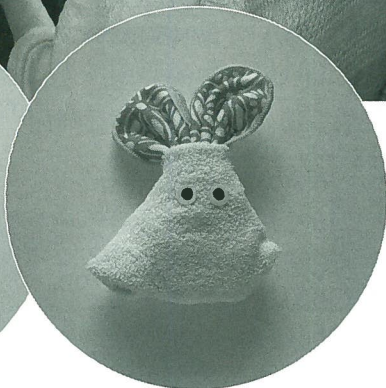
まほろば

社協広報

第40号



▲いい天気になってきたねえ



▲かわいいねえ。ありがとう

「おかげんいかが、ヘルパーです」

村内の匿名希望の方より、善意の品物をいただき、村内の高齢者世帯や、ひとり暮らしの高齢者の方々にお届けしました。

「かわいいねー。このまま飾っておくわー」「ありがとう」……。目尻も下がり、顔もほころぶ瞬間です。ヘルパーとの話も弾みます。

ヘルパーステーションいちいの里では、お家で安心して暮らせるように、ご家庭に訪問して身の回りの援助をさせて頂いています。

介護の援助……入浴・排泄・食事など
家事の援助……掃除・洗濯・調理・買い物の代行など

その人らしく、意欲を持って安心して生活できるように、ご家族の方とも連携をとりながらサービス提供をさせて頂いています。



▲一緒に作ると楽しいねえ

平成19年度一般会計決算概要報告	1
平成19年度助成金交付事業の概要	2
まほろばトピックス～よもやま話～	3・4
平成20年度の事業計画と予算が決まりました	5
平成20年度事業取り組みの概要	6

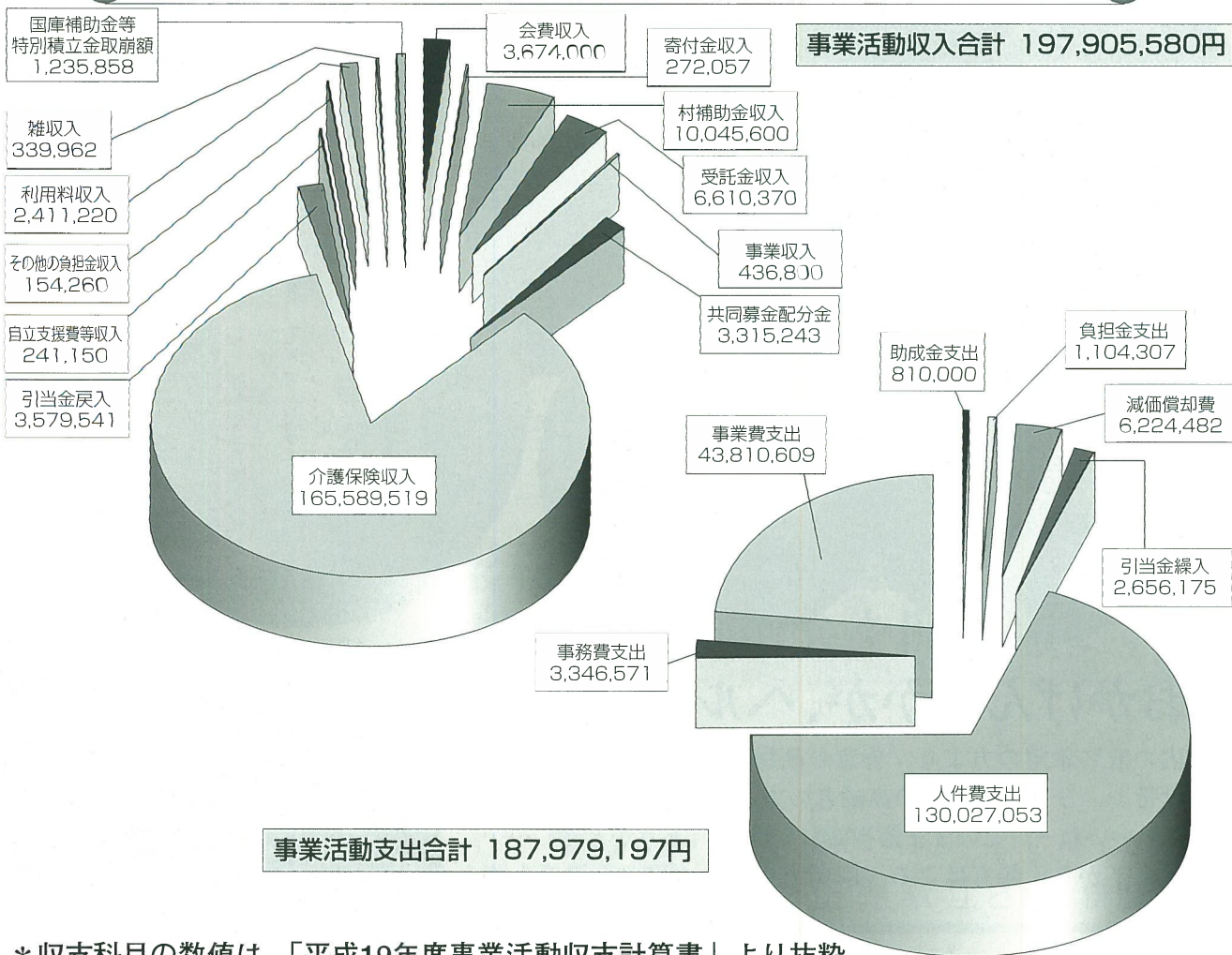
平成19年度 山形村社会福祉協議会一般会計決算概要報告

5月30日、保健福祉センターいちいの里で、山形村社会福祉協議会の平成20年第2回評議員会が開かれました。会議では、平成19年度の事業報告並びに一般会計決算報告等について審議され、それぞれ了承されました。

主な収入の実績として、介護保険収入の増加等により、前年度より全体としては収入増となりました。支出の実績としては、介護保険事業の拡張に伴う人件費や事業費の増大。また「ふれあい寄席」等、山形村各区域を対象とした、地域づくり・福祉づくり活動の展開による事業費の増加等により、1,600万円ほどの支出増になりました。

以下、山形村社会福祉協議会の一般会計決算の概要を報告します。

平成19年度 山形村社会福祉協議会一般会計事業活動収支の部 概要



*収支科目の数値は、「平成19年度事業活動収支計算書」より抜粋

付記 山形村社会福祉協議会会員の会費収入を財源とする支出内容

- ◆ 福祉講座開催費 ◆ 福祉啓発費（山形村福祉のつどい開催費等）
- ◆ 福祉団体等助成金（地域福祉団体等助成金・社会福祉協力校事業助成金）
- ◆ 慰霊祭の斎行等
- ◆ 地域福祉活動費（地域ふれあい交流事業、在宅介護者リフレッシュ事業費他）
- ◆ 障害者居宅介護事業 ◆ 日中一時支援事業 ◆ 福祉輸送サービス 他

平成19年度 助成金交付事業の概要

山形村社会福祉協議会の会費財源または共同募金配分金を財源にして、下記の団体に対し助成金を交付しました。

地域福祉団体等助成金 (財源 社協会費)

○山形村身体障害者福祉協会	助成金額 120,000円
○山形村知的障害者育成会	助成金額 80,000円
○山形村遺族会	助成金額 90,000円
○傷痍軍人会山形支部	助成金額 20,000円

指定地域福祉活動支援事業助成金 (財源 共同募金)

○絵手紙サークル 団栗	助成金額 20,000円
○親育ちの会	助成金額 25,000円
○上大池琴クラブ	助成金額 25,000円
○鷹の窪自然公園を愛する会	助成金額 15,000円
○人形劇サークル てぶくろ	助成金額 25,000円
○上大池老人クラブ	助成金額 25,000円
○民話クラブ 灯	助成金額 25,000円
○かたくりの会	助成金額 25,000円
○山形村ゲートボール協会	助成金額 25,000円
○上竹田ゲートボールクラブ	助成金額 20,000円
○ナルク	助成金額 5,080円
○小坂区ゲートボール協会	助成金額 13,590円
○森林・林業・林産業活性化議員連盟協力者 みどりの少年団	助成金額 25,000円
○「共に生きる」を考える会	助成金額 25,000円
○クレヨンママ	助成金額 13,590円
○山形村子ども会育成会	助成金額 13,590円
○しゃぼん玉広場	助成金額 25,000円
○ケアホーム 杉の子	助成金額 24,150円
○やまがたウインドアンサンブル	助成金額 25,000円

社会福祉協力校事業助成金 (財源 社協会費)

○鉢盛中学校	助成金額 50,000円
○山形小学校	助成金額 50,000円



▲小坂区ゲートボール協会



▲山形村ゲートボール協会



▲上竹田ゲートボールクラブ



◀やまがたウインドアンサンブル



▲絵手紙サークル 団栗



▲かたくりの会



▲人形劇サークル てぶくろ

▲クレヨンママ

山形村社会福祉協議会理事・監事・評議員名簿

(平成20年4月23日現在)

理事

逢澤佳丸(会長)
上條智佐雄(副会長)
福澤倫治(副会長)
平沢隆一(常務理事)
上條重幸
平沢恒雄
野口壽昭
笹川武清
相渡さゆり
高山美波子

監事

三枝 一
武井勝美

評議員

高山秀子
竹野入恒夫
本庄昭夫
小林昭五
大池正之
中村一博
宮沢 勲
横水美佐子
神通川長子

住吉すみ
堤 洋子
百瀬厚美
大月民夫
中村 健
百瀬 泉
永田博秋
横水廣幸
平林昌躬

清沢善人
瀬川久幸
百瀬繁寿



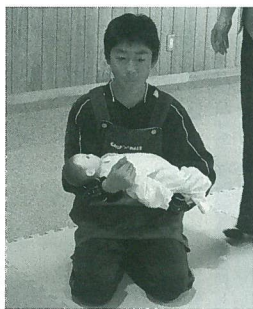
ふるさと体験学習～命の大切さを学ぶ～

5月16日、鉢盛中学校1年3組の皆さんがいちいの里を訪れ、乳児やデイサービス利用者と交流しました。



午前中、乳児と交流するグループは出産や育児について学習しました。保健師さんから教えていただき、自身の母子手帳を見る学習や抱っこのかた、着替えのかた、おむつのあて方の学習をしました。また、妊婦体験をして、妊娠されている方がどれだけ大変な生活を過ごしているかを学びました。女子生徒ばかりでなく男子生徒も体験し、不自由さを実感したようです。

午後には、実際に赤ちゃんとおふれあう時間がありました。戸惑いながらも恐る恐る抱っこをする生徒の皆さん。それでもお母さん方から優しく声をかけていただき、緊張がほぐれた様子でした。その他に、着替えやミルクの飲ませ方なども体験させていただきました。写真の生徒さんの表情を見てください。優しい表情で接していますね。



この日は、他にもデイサービス利用者との交流や、収集された切手を分ける奉仕活動、アイマスクや車椅子体験をしました。



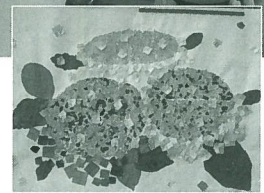
どの体験をした生徒さんも強く心に残る学習ができたと思います。大人になっても「相手の立場で考える」気持ちを持ち続けてください。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

デイサービス通信 ②

デイサービスセンターいちいの里では、4月にお花見や音楽ボランティアの方による発表などのイベント、5月には鉢盛中学生との交流や音楽ボランティアの方による発表がありました。



音楽ボランティアでは「涙そうそう」の演奏に関わっている吉川忠英さんが来訪され、「銀色の道」や「涙そうそう」など全6曲を演奏してくれました。他にも、詩吟や尺八のボランティアの方々も来所され、演奏を聞くことができました。利用者の皆様は澄んだ尺八の音色に耳を傾けていらっしゃいました。



お花見は近隣の桜を見るために、デイサービスの送迎車を利用して出かけました。利用者の皆様はソメイヨシノの美しさに感動されていたようでした。

鉢盛中の生徒さんとの交流会では、中学生のみなさんに車椅子を押してもらったり、レクリエーションに参加していただきました。利用者の皆様も若いエネルギーをいただいたのか、表情は穏やかで笑顔も多く見られました。



普段も利用者の皆様は、ちぎり絵やデイルーム玄関に飾るはり絵などの創作もされています。いつも素敵な作品ができるので、職員も出来上がりを楽しみにしています。

ボランティア大募集！ あなたを待っています

デイサービスセンターいちいの里では、ボランティアができる方を募集しています。

イベント関係 ・ コーラス ・ 楽器演奏 ・ 詩吟 ・ その他

デイサービスでのボランティア ・ お話し相手 ・ 利用者の方へのお茶の準備 ・ 手作業のお手伝い
・ 入浴後のドライヤーかけのお手伝い ・ 外出時のお手伝い

興味がある方はぜひご連絡ください。

デイサービスセンターいちいの里 ☎97-2102 担当/成田



想いを新たに——英霊の顕彰 慰霊祭の斎行

樹木の青葉が新緑色を深めた5月15日、小学校前の忠魂碑で毎年恒例の戦没者・海外移住物故者・消防殉職者合同慰霊祭が執り行われました。本年は仏式にて斎行され、戦没者・海外移住物故者・消防殉職者の遺族の皆様をはじめ約80人のご参列をいただきました。



当日は、招待者、ご遺族もお揃いになった午前10時より厳かに法要が開始されました。参列者全員で黙祷を捧げた後、山形村社会福祉協議会の逢澤佳丸会長は式辞の中で「戦争の悲惨さを若い世代に伝え、尊い犠牲のおかげで今の平和な暮らしがあることを肝に銘じたい」と英霊に感謝の言葉を捧げ、清沢實視村長は「身内を亡くした遺族の長年にわたる労苦を察し、戦没者の安らかな眠りを祈りたい」と慰霊の言葉を贈りました。

僧侶の読経が響く中、参列者は一人ずつ焼香をし、碑の前で手を合わせ、それぞれの想いを胸にして黙祷を捧げました。

国や村、地域のために尊い命を失った英霊を偲びながら、今を生きる私たちは「感謝」を忘れず、将来に向けて慰霊祭を厳修し、子々孫々までも大切に継承していきたいという想いを新たにしました。

すぐにできます！
やってみましょう！

収集ボランティア募集中

山形村ボランティアセンターでは、誰にでも簡単に参加できるボランティアとして「収集ボランティア」を行っています。

現在収集を
行っているもの

- ・ 1円玉
- ・ 古切手
- ・ 書き損じハガキ
- ・ 使用済みテレホンカード
- ・ ボールペン、シャープペン

これらは、家の中で眠ってしまっていたり、普段は捨ててしまうものかもしれませんが、収集することによって役に立ち、それがボランティアになるのです。

集まった1円玉は、村内や近隣の施設に寄付する予定です。古切手は、住民の皆様にも仕分け作業に協力していただき、福祉団体へ送付して活動に役立てていただけます。仕分け作業をスムーズに行うためにも、切手を封筒から剥がさず、切手の周囲を1センチほど残して切り取ってください。ご協力をお願いいたします。



書き損じハガキやカードも福祉団体へ送付する予定です。ボールペン・シャープペンは前回、乳児院へ寄付させていただきました。

保健福祉センターのロビーに収集ボックスが設置してあります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

詳しくは収集ボックスの掲示板、または山形村社会福祉協議会まで。

《お問い合わせ》ボランティアセンター

コミュニティハウス建部の里 ☎97-1165 担当/小澤
いちいの里 ☎97-2102 担当/桐原



地域に密着した活動を

■平成20年度 山形村社会福祉協議会一般会計予算概要報告■

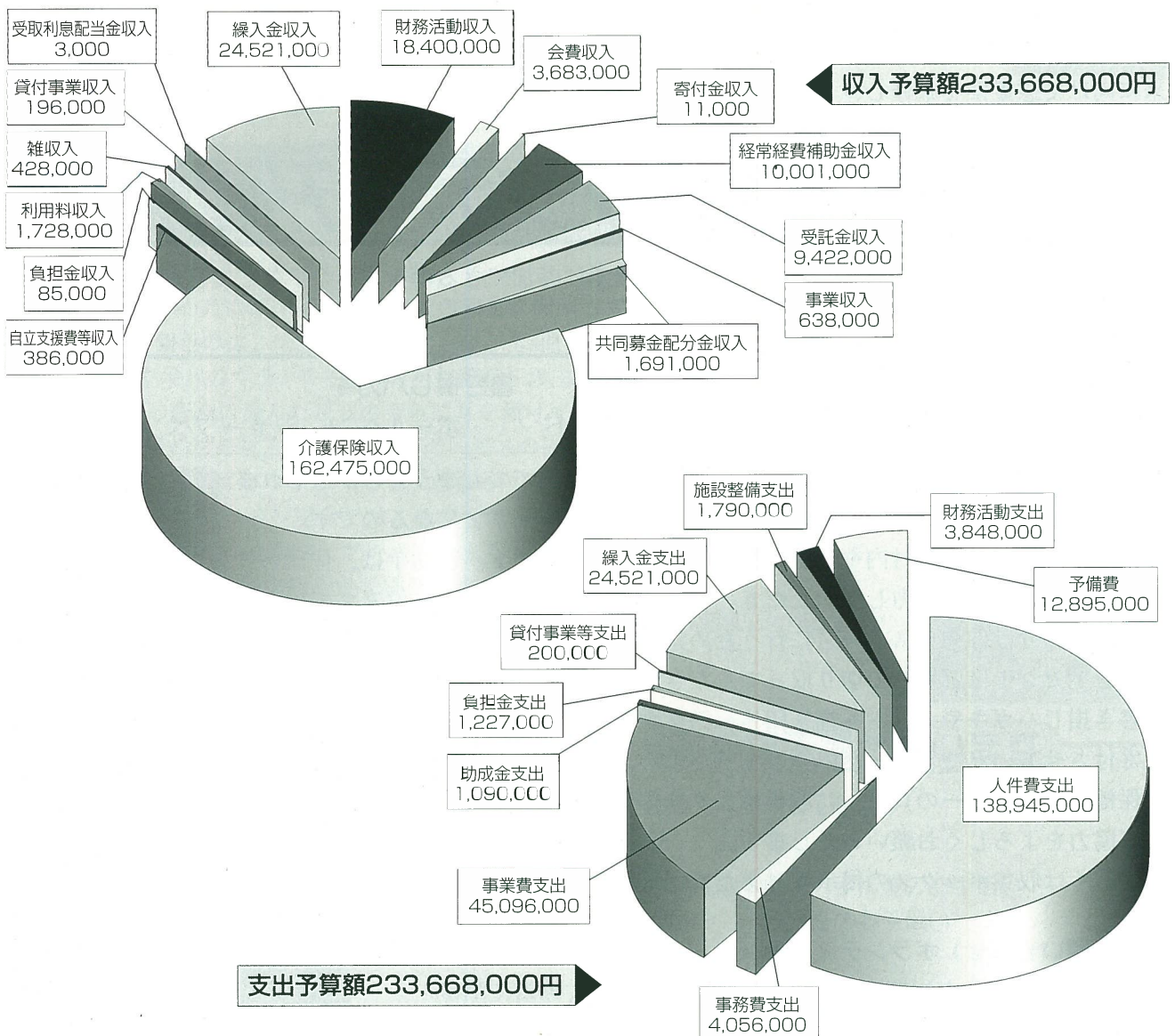
平成20年度の事業計画並びに予算についてご報告いたします。

事業計画では、住民の生活に密着した健康づくり・福祉づくり・生き甲斐づくりの活動を展開していく、という基本方針はそのままに、より地域に密着した活動を行うという計画になっています。

主な取り組みとしては、昨年より取り組んでいる小地域での福祉活動を、今年度はより積極的に実践していく予定です。また、社会福祉協議会の防災マニュアル策定を予定し、将来に向けて組織的な活動展開ができるよう、その基礎作業に取り組めます。

法人全般としては、社会福祉法人の創設20周年を迎え、昨年度より取り組んできた役職員・組織体制・諸制度の見直しを更に推し進め、機構改革による組織基盤の充実とその安定運営をめざすこととしています。

● 平成20年度／山形村社会福祉協議会一般会計収入支出予算の概要 ●



平成20年度版 山形村社会福祉協議会の会員会費等を活かした事業取り組みの概要

社会福祉協議会は、地域の住民と団体・企業等の会員から構成される民間組織です。

平成20年度も、住民（会員）の皆さんによる地域福祉活動の推進をはかるために、会費等の財源を活かして、次の各種事業に取り組みます。

事業区分	主な事業（活動）とその内容	充当財源の内訳
地域福祉 事業関係/ 地域福祉推進係 予算額 6,452,000円	■福祉啓発活動の推進 ○福祉公開講座の実施 まほろばカレッジ（地域ふれあい交流学習会）の開催 ○福祉啓発事業の実施 山形村福祉のつどい・地域ふれあい交流イベント等の開催 他	会費収入 569,000円 共同募金配分金 70,000円
	■地域福祉活動の促進 ○地域福祉活動計画の策定への取り組み（地域福祉活動計画・ポケットプラン） ○社会福祉事業関係者及び保健・医療・教育機関との連携等 ○住民、地域組織・団体、企業等の地域福祉活動の推進 ○地域福祉関係団体・機関等への助成金の交付 ○地域福祉活動部会の組織化・育成 ○地域ふれあい交流事業の企画・実施 ふれあいの旅・在宅介護者リフレッシュ・地域ふれあい交流活動の振興 他 ○ボランティアセンターの運営／ボランティア活動の振興	会費収入 1,938,000円 共同募金配分金 1,621,000円 参加費収入 619,000円 その他 1,303,000円
	■援護・激励 ○戦没者・海外移住物故者・消防殉職者慰霊祭の斎行 ○生活福祉資金・助け合い資金等貸付事業の実施 ○災害等被災者の見舞・援護活動の実施 他	会費収入 132,000円 その他 200,000円
地域福祉 事業関係/ 地域生活支援係 予算額 15,013,000円	■高齢者等介護予防・地域支援事業 ○軽度生活援助事業 ○生きがい活動支援通所事業 ○配食サービス事業 ○心配ごと相談事業 ■高齢者・障害児（者）生活支援事業 ○障害者施設移送サービス ○福祉輸送サービス ○日中一時支援サービス ○移動支援サービス ■障害者居宅介護事業 ■障害者（児）相談支援事業	会費収入 1,044,000円 村受託金収入 9,422,000円 利用料収入 1,728,000円 その他 2,819,000円

山形村社会福祉協議会のその他の事業取り組みの概要

介護保険事業関係 予算額 177,276,000円	■ホームヘルプ事業 （ヘルパーステーションいちいの里） ■デイサービス事業 （デイサービスセンターいちいの里） ■居宅介護支援事業 （居宅介護サポートセンターいちいの里） ■建部の里事業 （コミュニティハウス建部の里）	ヘルプ 39,495,000円 デイ 83,279,000円 居宅 21,975,000円 建部 32,527,000円
法人運営 予算額 34,927,000円	■法人の業務運営 ■事業部門の総括業務運営 ○地域福祉推進事業 ○地域生活支援事業 ○介護保険関係事業 ■関係団体事務局の業務運営 ○共同募金会山形村支会事務局 ○日本赤十字社山形村分区事務局	補助金収入 10,000,000円 その他 24,927,000円

平成20年度 山形村社会福祉協議会 普通会员会費納入のお願い

山形村社会福祉協議会では、住民（会員）の皆さんより平成20年度会費の納入をいただき、それを財源にして上記の地域福祉事業（活動）を計画いたしました。

本年度も皆さんのご協力を、宜しくお願い申し上げます。

***普通（世帯）会員会費の納入期間 7月1日～7月31日**

連絡班ごとに納入いただきます。ご協力をお願い申し上げます。

皆さんから愛され頼られる社協に

山形村社会福祉協議会 会長 逢澤 佳丸



本年4月1日付で会長に就任しました。

元より未熟者で全くの素人ではありますが、皆様のご指導とご協力を得て、この任を全うすべく努力する覚悟ですので、よろしくお願いいたします。

社協の定款に「山形村における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする」とあり、その目的達成のために17項目の事業内容が列記されています。改めてその崇高な理念・目的と膨大な事業内容に驚き、その責の大なることを痛感している次第です。

さて、我が山形村社協は昭和63年に法人として設立され、以来着実にその実績を積み重ね、事業内容も経理規模も大きく躍進している現状です。これは住民各位の社協に寄せる理解と期待の大きさの賜物と感謝しております。

そこで、20年目という節目の年にあたり、社協全容の見直しを図るべく昨年度において委員会を立ち上げ、鋭意研究した成果が会長へ答申されました。それに基づき、見直し原案が立案され、理事会、評議員会の議を経て承認されました。これにより、定款の改定から、役員の数や選出母体の見直しを図り、会長の村長兼任も廃止されました。また、規則や規程等の改定も併せて行われ、今日に至っています。

4月にスタートした新体制では、20周年記念事業の企画から検討しています。表彰・記念講演、平素お世話になっている皆様方への直接恩返しのための行事を企画しようと思います。その節は皆様のご賛賛をお願い申し上げます。

以上、抱負や若干の経過を記してご挨拶といたします。

おかげさまで
20周年

山形村社会福祉協議会 20周年記念講演会を開催します

12月7日(日)
ミラ・フード館2F
ホール・ミラ
入場無料
午後1時開場・
午後1時30分開演(予定)



講師：
正司歌江さん(俳優)

※詳しい内容は、次号「まほろば」でお知らせいたします。ご期待ください。

まほろば (社協広報/第40号) 平成20年6月27日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (山形村保健福祉センターいちいの里内)

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108